

学習指導過程 「終末」の工夫

終末は、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、**今後の発展につなぐ段階**であると言われる。

この段階では、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりする学習活動が考えられる。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」より

振り返りについて…

3 児童が主体的に道徳性を養うための指導

(1) 自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする

授業では、(略)理解した道徳的価値から**自分の生活を振り返り**、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることが望まれる。

(略)**自らの生活や考えを見つめるための具体的な振り返り活動**を工夫したりすることが必要である。

振り返り～プレゼンテーションアプリの活用(1)

目的

授業後の振り返りをポートフォリオ的にストックしていくことで、
評価に生かす

ツール

Google スライド

月 日() 教材名:

振り返り

先生から

改めて…

今日の一言(一文)

12月 4日(月) 教材名:うばわれた自由

日にち、教材名を書く

授業後に、自分の気持ちを表す表情と一言を描く(色塗りで表してもよい)

自由と自分勝手は違う!

振り返り

ぼくは、はじめ「自由」のことを「何をやってもよいこと」だと思っていました。だから、お話しに出てきたジェラルルの考えがよく分かりました。でも、お話を読むと、なんだか「おもしろくない」と思いました。授業を通して、ぼくが考えていたことは、「自分勝手」だとみんながぼくと同じように「自分勝手」を行動すると、大変なことになりそうです。

先生から

自由と自分勝手の違いが分かったようですね。これまで、学級で自由に行動してよかったことはありますか。

改めて…

係活動の内容を自由に考えました。友達とあれこれ意見を出し合って決めて、とても楽しかったです。

振り返りを書く

「はじめ～と考えていたが…」といった例を示してもよい

認め、励ますように教師がコメントを書く。さらに思考が続くように子供に問いを投げかける

教師の問いに子供が答える

授業を通して印象に残った一言(一文)を書く。教材にある言葉や友達の発言を書いてもよい

今日の一言(一文)

「いや、今、あなた方が言っている自由というのは、自分だけに都合の良いようにすることで、本当の自由とは申しません。」

授業を通しての「振り返り」の他、自分の気持ちを表す「表情」、「教師のコメントに対する意見」、「今日の一言(一言)」を書くことで、自分の生活と関連付けるとともに、授業を印象づける

振り返り～プレゼンテーションアプリの活用(2)

目的

授業後の振り返りをポートフォリオ的にストックしていくことで、
評価に生かす

ツール

Google スライド

The screenshot shows a Google Slides template with the following sections:

- 板書コーナー** (Blackboard Corner): A large empty box for pasting a photo of a blackboard.
- 今日の学びに関係した心** (Heart related to today's learning): A box containing the text "の心" (Heart).
- 月 日** (Month/Day) and **教材名:** (Textbook Name): Fields for recording the date and subject.
- ノート** (Notes): A large empty box for writing reflections.
- 未来ノート(月 日)** (Future Note (Month/Day)): Two boxes for writing future notes with dates.

The screenshot shows a completed slide with the following content:

- 板書コーナー**: A yellow callout bubble says "板書の写真を撮影し、貼る" (Take a photo of the blackboard and paste it).
- 今日の学びに関係した心**: A box contains "がんばることをあきらめない 心" (Don't give up on trying hard, heart).
- 月 日**: 10月 21日 (October 21st). **教材名:** きっとできる(私たちの道徳) (Surely we can do it (Our Moral Education)).
- 学んだことを一言で、「～(の)心」という形で表す** (Express what you learned in one sentence, using the form '~(no) heart'): A yellow callout bubble says "授業の振り返りや気付いたことなどを書く(様式は自由)" (Write about class reflection or things you noticed, format is free).
- 学習したことが活かされた(る)と思う場面で、その気付きなどを書く** (Write about a situation where what you learned was useful, and your insights): A yellow callout bubble says "学んだことを一言で、「～(の)心」という形で表す" (Express what you learned in one sentence, using the form '~(no) heart').
- ノート** (Notes):
 - 私は、たくさんの習い事をしていました。でも、どれも長続きしませんでした。お話を読んで、小さな目標を立てて、そこに向かってがんばるとよいということが分かりました。もし、あきらめないでがんばることができたら、高橋尚子さんのように素晴らしい世界が見えると思います。まずは、できることから努力してみたいです。
 - 未来ノート(11月 3日)** (Future Note (November 3rd)): 地域のマラソン大会に参加しました。後半とてもきつくなり、苦しくなったけど、がんばりました。ゴールしたとき、とてもとてもすっきりしました。
 - 未来ノート(2月3日)** (Future Note (February 3rd)): 学力テスト。算数が苦手で、いつも復習から逃げていました。でも、今年は「きっとできる」と思い、小さな目標を立てて、復習をがんばってみました。すると、点数は良くなかったけど、いつもより自信を持ってとくことができました。

授業を通しての「振り返り」の他、「板書の写真」、学習とこれからをつなぐ「未来ノート」を書くことで、自分の生活と関連付けるとともに、授業を印象づける

書くことが苦手な子供への手立て

- 選択肢を与え、その理由を書かせる
- 「リード文」「接続語」「文末の言葉」などをワークシートにあらかじめ示しておく
- 友達の見解を参考にして書かせる
 - 「友達のどの見解が参考になりましたか」
 - 「その理由は何かな」
- 板書の言葉を使って書かせる など

良 さ

- ・次(年度)の学習に生かすことができる
 - 「前の学習(学年)では、〇〇というお話で考えましたね。
どんなことを考えていたか、自分の振り返りを見てみましょう」
- ・学習したことや考えたことなどを保存できる(学習履歴としての機能)
- ・教師は、認め、励ます評価に生かすことができる

留意点

- ・低学年の子供や書くことに抵抗感がある子供への配慮
 - 「音声入力」機能や「音声ファイル」「動画」の添付、「ワークシートの写真」添付など、柔軟に(文字にこだわらない)対応する

他ツール

ロイロノート・スクールで「振り返り」を行う例

新しいノートのタイトルを「**道徳 ふりかえり**」などと設定

1 提出箱の利用

- ①授業後に提出箱に振り返りを書いた「カード」を提出する**※無記名に設定**
- ②教師はコメントを書いて返却

2 生徒間通信を利用

- ①生徒間通信をオンにする
- ②振り返りを書いた「カード」を、「教師に」「送る」
- ③教師はコメントを書いて返却

※「提出箱」を利用すると、**一人一人の意見を見ることができる**

（無記名に設定することで、誰が書いたかは分からなくすることができる）

※「カード」は、ひな形を用意しておくことも考えられる

その他のICTを活用した「終末」の工夫

- 意見の発信、交流
- ゲストとつないで交流、説話
- 手紙など双方向なやりとり
- 教師が動画撮影した本時の内容に関連する
子供の日常を流す
- その他動画を流す など